

4つの外構工事

- ・クローズドガーデン
- ・オープンガーデン
- ・セミクローズドガーデン
- ・イングリッシュガーデン

Start Slide



外構工事の種類 (配置方法による分類)

外構デザインには、右記の4つのタイプがあります。

門扉、ブロック塀、フェンス、アプローチ、駐車スペース、植栽など、設置するエクステリアやバランスによって仕上がりが変わります。

納得のいく空間にするためには、理想のイメージやお住まいの土地にあわせて施工することが重要です。



クローズドガーデン



セミクローズドガーデン



オープンガーデン



イングリッシュガーデン



理想のガーデンはありますか？



クローズドガーデン

クローズドガーデンとは、塀やフェンス、生け垣などによって、建物の周囲をグルッと囲ってしまう外構のことをいいます。

塀などを設置することで、敷地の「内と外」が明確に線引きされ、外部と閉ざされた格好になるため「クローズド」と呼ばれます。

建物の周りにフェンスや塀などを設けて境界線を構築する外構工事で、プライベート空間を保ちやすいのが特徴的です。

フェンスや塀の高さを出すことで高層マンションや隣家の2階などからの視線を遮断することが可能なので、屋内に大きな窓があっても外部からの視線を気にせずに過ごせます。

庭でガーデニングやバーベキュー、水遊びを楽しみたいご家庭にも適しています。



クローズドガーデン のメリット

外構で囲まれていると、「なんだか敷地内に入りづらい」
感覚になるもの。クローズドガーデンは、こうした防犯性
を高める作用にもなります。

また、視線をさえぎる障害物を設置することでプライバシ
ー保護が図れるというメリットもあります。



クローズドガーデン のデメリット

塀や生け垣、門といった外構で建物の全周を囲うため、その分だけ外構工事の費用が高くなりやすいです。

障害物が増えてプライバシー保護に役立つ一方、不審者が侵入しても周りが気づきにくいいため、人感センサー付きのライトや防犯カメラを設けるといった工夫が必要になります。



オープンガーデン

塀やフェンスで囲ってしまうクローズド外構に対し、建物の敷地と道路・歩道といった公共の空間と境界線を設けないため、狭い敷地でも開放的な空間を構築できるのがオープンガーデンです。

フェンスなどの遮断物がないので視覚的に圧迫感を感じにくく、日差しや風を取り入れやすいのが特徴的です。

開放的な空間は不審者が身を隠せる死角を作らないため防犯上の観点からも効果的な外構デザインです。



オープンガーデン のメリット

建物の周りにフェンスを設置しないため、外構工事の費用を大幅に抑えられます。

また、建物を外構で囲い込まないため、全体的に開放的な印象になります。

周囲に障害物がなく、敷地内に立ち入ろうとするとかえって目立つため、クローズドガーデンよりもむしろ防犯性に優れています。



オープンガーデン のデメリット

外構から敷地内の様子が丸見えになるほか、堀など周囲からの視線を遮る障害物がなく歩道や道路との境界線が不明瞭になってしまうことから、他人が敷地内に入りやすくなってしまいます。

小さな子どもやペットがいる場合は、道路に飛び出しやすいため花壇や庭木といったエクステリアを工夫する必要があります。



セミクローズドガーデン

クローズドガーデンとオープンガーデンの中間にあたる外構デザインが、セミクローズドガーデンです。

クローズドガーデンのように境界線をしっかりと設けませんが、抜け感のある素材や低めのフェンスや塀を用いて敷地と外部の空間をゆるやかに遮ることができます。

そのため、プライベートな空間を保ちながら、オープンガーデンのように開放的な空間を獲得することが可能です。



セミクローズドガーデン のメリット

防犯性が確保でき、エクステリアの配置がしやすくカスタマイズがしやすいのが大きな魅力です。

自由度が高いのでおしゃれな景観にこだわりたい方に最適な外構デザインでもあります



セミクローズドガーデン のデメリット

境界線や視線の遮断が曖昧になりやすいといったデメリットもあります。

日差しや風などの環境要因や、外部からの視線や不審者が隠れやすい死角といった外部要因などに考慮しながら、デザインと機能性を兼ねそなえた空間づくりを検討することが大切です。

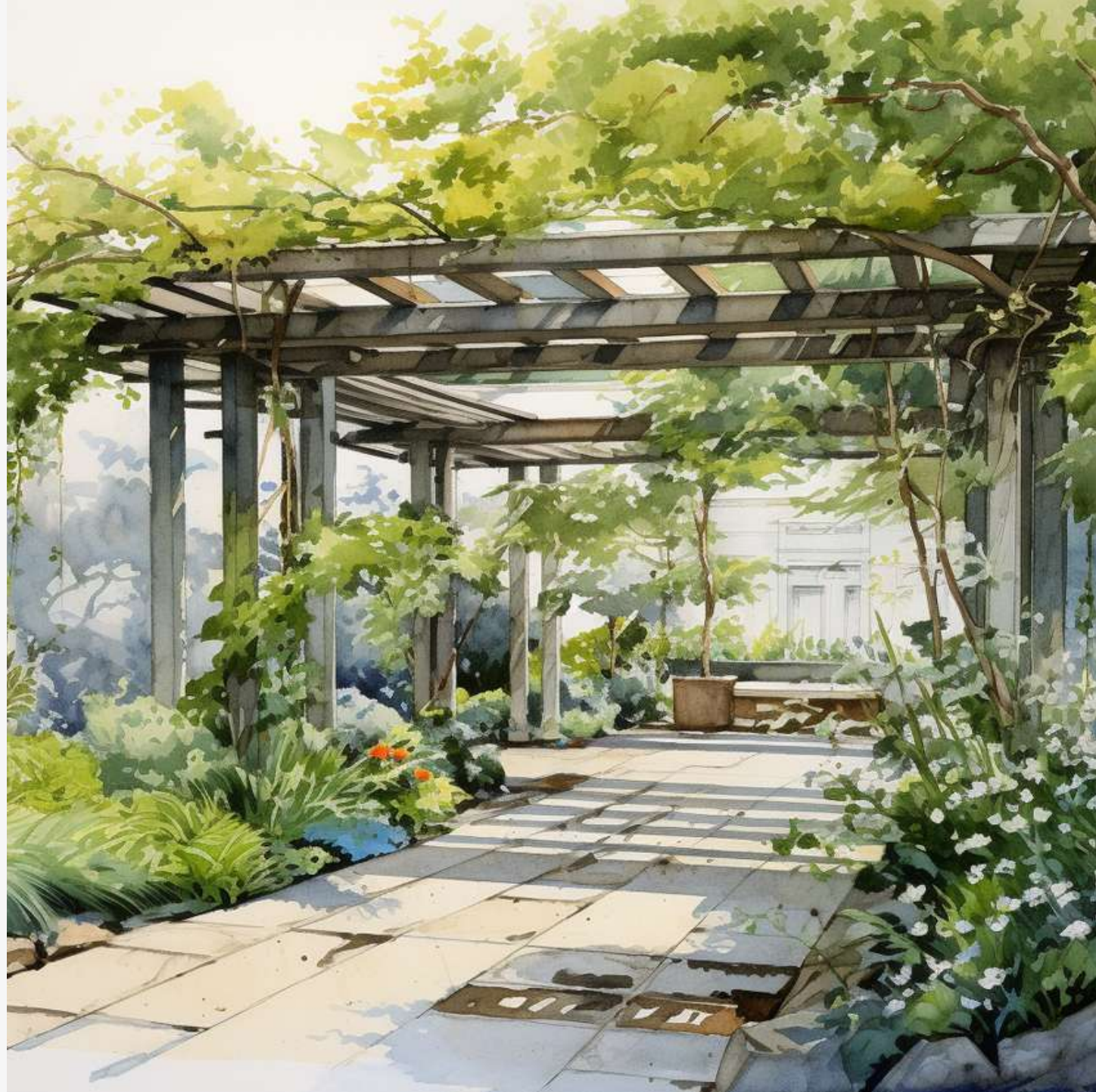


イングリッシュガーデン

イングリッシュガーデンは庭木や植花が本来持つ自然の美しさを活かし、人の手を加えないことを主眼に置いた外構です。

自然が作り出す景観は人の想像を超える美しさがあり、加工されていないからこそ予想できない美しさは心が動かされます。

ガーデニングを楽しむ方にとって憧れる外構デザインのひとつです。

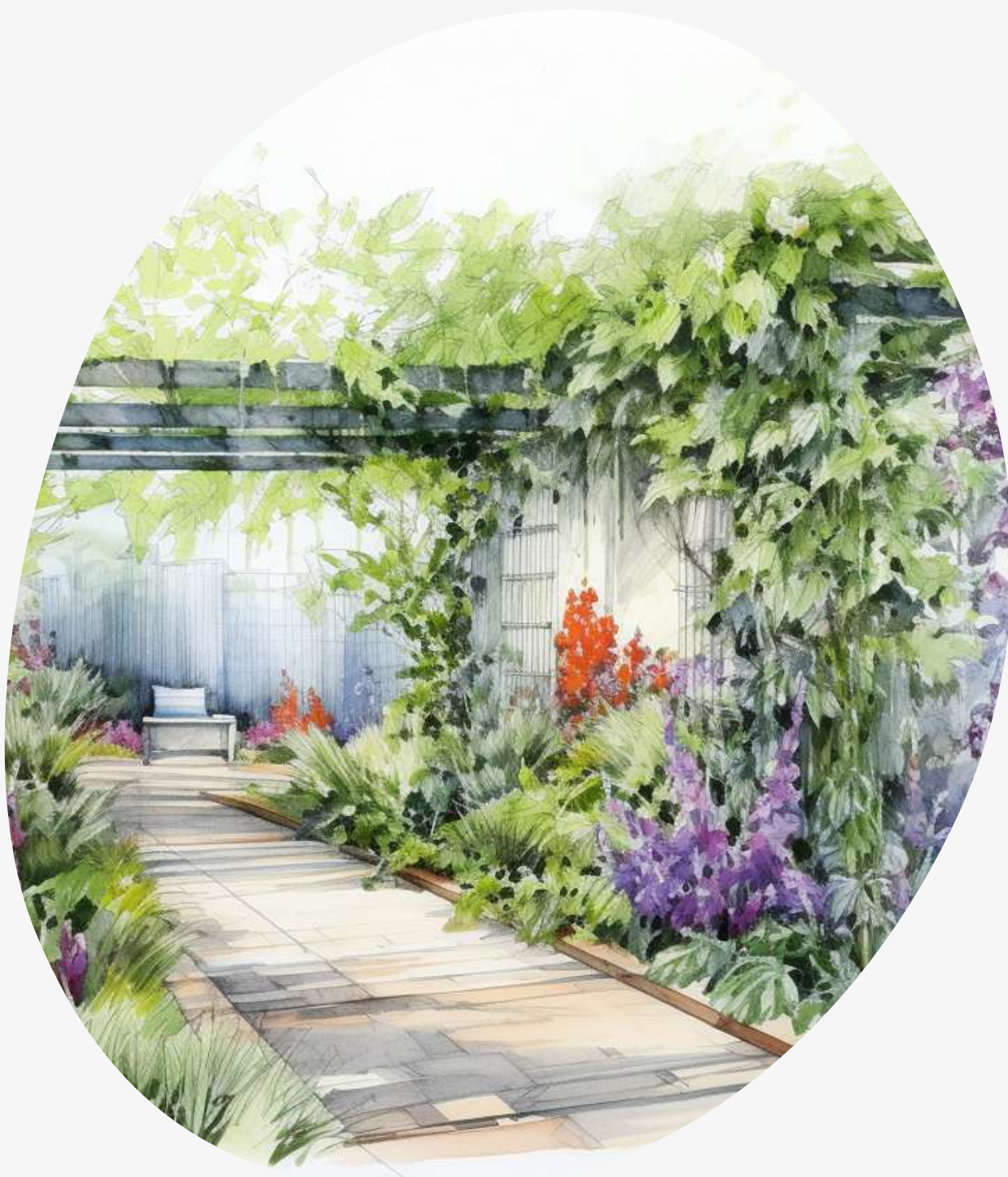


イングリッシュガーデン のメリット

18世紀～19世紀にはじまったイギリス式庭園（風景式庭園）の流れを汲んだ外構デザインは、自然の植物や花や、レンガを楽しむ自然に囲まれて心が落ち着きます。

海外映画やドラマのワンシーンのような空間を演出できます。

イングリッシュガーデン のデメリット



植物はマメに手入れをしないと見栄えが悪くなってしまいますので、定期的なメンテナンスが必要です。

天候によっては作業が制限されたり虫や蚊に刺されるなど、身体の負担や作業時間に制約がでてきます。

まとめ

外構スタイルは多様で、それぞれが独自の魅力と機能を持っています。クローズドガーデンはプライバシーと保護を提供し、セミクローズドガーデンは開放感とプライバシーのバランスを重視します。

オープンガーデンは自然との調和と広々とした空間を提供し、イングリッシュガーデンは自然の美しさと季節の変化を反映します。

これらのスタイルは、環境や個人の好み、利用目的に応じて選ばれ、それぞれが独特の空間を創出します。

外構デザインは、自然と人間の関係を豊かにし、生活空間に美と機能をもたらします。

